

# けやき

令和元年度  
学校評価(中間報告号)

NO. 508

練馬区立南が丘小学校

校長 高橋 忠太郎

地域、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。常日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本年度の教育活動につきましてアンケートご協力をお願いいたしましたところ、多くの声をいただくことができました。ありがとうございました。集計がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果を、次年度の教育計画に生かしてまいります。

これからも、様々な面で、地域、保護者の皆様のお力添えが必要となりますので、ご協力の程をよろしく願います。

結果のグラフは、左より **思う** **まあまあ思う** **あまり思わない** **思わない** **分からない** です。

## 1 下学年児童(169名)アンケート結果

下学年 (令和元年度 中間)				
1 学校に行くのが楽しい。	70%	23%	3%	1%
2 学校では友達となかよくしている。	70%	24%	3%	1%
3 先生や友達、地域の人にきちんと挨拶ができる。	74%	22%	2%	1%
4 先生や友達の話をしっかり聞ける。	67%	27%	4%	1%
5 勉強が分かりやすい。	78%	18%	2%	1%
6 先生に何でも話したり相談したりできる。	56%	37%	3%	5%
7 学校で本を読んでもらったり読んだりするのが楽しい。	86%	9%	3%	1%
8 実物投影機などを使った授業は分かりやすい。	83%	12%	2%	1%
9 学校行事は楽しい。	83%	13%	2%	1%
10 休み時間に校庭でたくさん遊んでいる。	67%	15%	8%	7%
11 けやき班の活動や遊びなどは楽しい。	88%	9%	1%	1%
12 学校のそうじをしっかりときれいに気持ちよくしている。	71%	21%	6%	1%
13 少人数の授業や二人の先生で教えてくれる授業は、よく分かる。	73%	17%	3%	5%

13項目中12項目において「思う」「まあまあ思う」が90%以上ですので、良好な結果と捉えています。特に、「先生に何でも話したり相談したりできる」の項目では、「思う」「まあまあ思う」のポイントが昨年度後期に比べ9ポイントも上昇しました。これは児童たちと教員によりよいつながりができてきているとの表れであると考えます。今後もこのような状況を保てるよう、教員は児童に寄り添い、心の通じ合う指導を心がけていきます。

学校経営の重点の一つである「学校での本の読み聞かせや朝読書は楽しい」については、昨年度後期同様に高い数値を示しています。図書室の本の貸出冊数は年々増えており、読書に興味をもち、本に親しんでいることがよく分かります。図書ボランティアの方々の読み聞かせや南田中図書館と連携した取組(学習内容に合わせた団体貸出)、練馬お話の会、読書旬間の取組(委員会活動)に趣向をこらしてきたことで読書への興味関

心が高くなってきた成果だと考えます。子供たちからも楽しみにしているという声をよく聞きます。

昨年度後期と比べ「思う」「まあまあ思う」のポイントが大きく下がったのは、「休み時間に校庭でたくさん遊んでいる」の項目でした。学校として休み時間のルールを見直し、教員は積極的に外遊びに出るよう声をかけたり、クラス遊びで校庭に出るきっかけを作ったりするなど工夫していきます。

## 2 上学年児童(182名)アンケート結果

上学年（令和元年度 中間）			
1 学校に行くのが楽しい。	56%	35%	3%4%2%
2 学校では友達となかよくしている。	66%	28%	2%4%
3 時と場に合ったあいさつが、自分からきちんとできる。	61%	37%	1%
4 先生や友達の話をしっかり聞ける。	54%	41%	4%1%
5 学校の授業は分かりやすく楽しい。	56%	35%	2%3%4%
6 先生とたくさん話ができています。	43%	46%	4%3%4%
7 学校ですすんで読書をしている。	40%	46%	9%3%4%
8 実物投影機などを使った授業は分かりやすい。	63%	29%	2%3%3%
9 学校行事は楽しい。	84%	12%	1%2%
10 休み時間に校庭で十分遊んでいる。	43%	41%	9%4%3%
11 けやき班の活動や遊びなどは楽しい。	66%	30%	1%2%
12 学校のそうじや後かたづけをしっかりし、きれいに気持ちよくしている。	54%	43%	1%
13 少人数の授業や二人の先生で教えてくれる授業は、よく分かる。	66%	26%	2%3%4%

13項目中10項目で「思う」「まあまあ思う」が90%以上となっており概ね良好です。

特に「学校ですすんで読書している」の項目では、昨年度後期に比べ「思う」が9ポイントも上昇しました。高学年は行事などで読書する時間を作るのが難しいのですが、積極的に読書に取り組む児童が増えよかったと思います。

「時と場に合ったあいさつが、自分からできる」の項目も肯定的な回答の割合が昨年度後期より6ポイント上昇しました。児童たちの意識ではあいさつしていると感じているのだと思います。しかし、児童の様子から、あいさつができるのは決まった場面だと思われます。具体的には、朝の登校時や周りのみんなと一斉にあいさつをするときなどです。学校の来客などと廊下で出会ったときにはなかなかあいさつができません。これはやはり習慣付けることが必要だと考えます。チャンスをみては、そのような挨拶の仕方も指導していきたいと思います。また、「けやき班の活動や遊びは楽しい」の項目では、「思う」が8ポイント上昇しました。高学年児童は自身が楽しみながら班の活動を運営しているようでよかったと思います。

しかし、昨年度後期に比べ「思う」の回答率が2ポイント下がってしまった項目は「学校の授業はわかりやすく楽しい」でした。学校生活の中で、授業の時間は大部分を占めています。授業の質を上げ、わかりやすい授業を行うことは重大な課題です。校内研修や区内の研修会、自己研鑽を重ね、教員の授業力を高めていきたいと考えています。

### 3 保護者(287名回答)アンケート結果

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
学年人数(人) (アンケート時)	55	61	53	63	73	51
回収人数(人)	46	52	42	53	61	33

保護者（令和元年度 中間）	
子どもは、明るく楽しく学校に通っている。	73% 23% 30%
子どもは、友達となかよくしている。	60% 36% 34%
子どもは、きちんと挨拶ができる。	33% 45% 19% 39%
子どもは、学校で先生の話をしっかり聞いている。	28% 57% 13% 14%
子どもは、学習が分かり、楽しく学んでいる。	34% 54% 11% 0%
子どもは、自ら考えたり、考えたことや感じたことを表現したりしようとする。	33% 53% 11% 14%
子どもは、すすんで読書をしている。	28% 32% 27% 12% 1%
子どもは、学校行事を楽しみにしている。	79% 19% 1%
子どものことで困ったときに、教職員に相談できる。	46% 42% 7% 14%
学校は保護者からの連絡等に対して適切に対応している。	61% 32% 29% 5%
学校は、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。	43% 45% 8% 0%
保護者や地域に対して、学校は参観する機会を十分に設けている。	78% 21% 0%
学校は子どもの安全・安心に十分配慮している。	47% 45% 6% 1%
学校の施設や設備は、学習環境面で充実している。	33% 47% 12% 2% 7%
習熟度別指導の授業は、学習意欲や学力の向上につながっている。	41% 43% 5% 2% 9%

「子どもは友達となかよくしている」「子どもは学校行事を楽しみにしている」は、「思う」「まあまあ思う」を合わせて95%を超える評価をいただきました。児童の回答もこの項目については肯定的な回答が多くなっています。子供たちが友達と仲よく充実した学校生活を送っているという姿と捉えていただき学校としても嬉しく思います。

「保護者や地域に対して、学校は参観する機会を十分に設けている」は、本年度も高い評価をいただきました。今後も参観の機会を充実させていきたいと思えます。

昨年度後期と比べて、全体的に「思う」「まあまあ思う」を併せた割合が大きく上回った項目は、「子供は友達となかよくしている」「学校は、子どもの安全・安心に十分配慮している」「学校の施設や設備は学習環境面で充実している」です。学校施設についてはプール改修や体育館への通路の施錠を評価してくださっていると考えます。

「子どものことで困ったとき教職員に相談できる」の項目では、わずかではありますがポイントが上がったことをありがたく感じる反面、「学校は、保護者からの連絡等に対して適切に対応している」の項目でポイントが下がったことを真摯に受け止めなければと思います。これからも教職員は保護者に対しても児童に対しても真摯な姿勢を忘れずに丁寧に対応していきたいと思えます。ご相談やご心配がある場合には、お気軽に担任、学年主任、管理職までご連絡ください。

高評価が多い中、肯定的な回答が最も低かった項目は「すすんで読書をしている」でした。児童たちのアンケートでは、特に低学年は読書や読み聞かせを楽しんでいる様子が伝わって来たのですが、保護者の目からそのように捉えられています。おそらく、学校では忙しい中でも読書する時間があったり、

読み聞かせをしてもらえたりしますが、ご家庭においては、なかなか読書をする時間を作ることができないのではないかと考えます。塾や習い事などが多くなり、学年が上がるほどその傾向が高くなると想像できます。ご家庭でも、ぜひ短い時間でも読書する時間を作っていただけたらと思います。読書を通して、児童の様々な力を伸ばしていきたいものです。

また、「思う」や肯定的な回答率がともに低めだった項目は、「子どもは、きちんと挨拶ができる」「子どもは、学校で先生の話をしっかり聞いている」でした。「あいさつ」は学校の重点目標として取り組んでいますが、満足できる状況にはなっていません。小学生にとっては、日頃からの習慣付けが大切であると思います。学校と家庭がしっかりと協力して「あいさつ」ができる学校を目指していきたいと考えます。

#### 4 地域（16名回答）アンケート結果

地域（令和元年度 中間）	
子どもは、明るく楽しそうに学校に通っている。	80% 20% 0%
子どもは、友達となかよくしているように思われる。	73% 27% 0%
子どもは、地域でも挨拶をしている。	27% 47% 27% 0%
子どもは落ち着いて学校生活を送っているように思われる。	67% 27% 0% 6%
教職員は、誠実に子ども・保護者・地域の方に接している。	47% 40% 0% 13%
南が丘小学校の教育活動に共感できる。	73% 20% 0% 6%
学校と地域は協力的な関係が築けている。	73% 20% 0% 7% 0%
学校だよりなどのお知らせを読むと学校のことがよく分かる。	88% 13% 0%
学校は、子どもの安心・安全に十分配慮している。	60% 33% 0% 7%
学校の施設や設備は、学習環境面で充実している。	20% 53% 7% 7% 13%

今回は昨年度後期に比べ回収率が20%も上がりました。ご協力に感謝いたします。

10項目中7項目は「思う」「まあまあ思う」の割合が90%を超えました。とくに「子どもは友達となかよくしているように思われる」「子どもは落ち着いて学校生活を送っているように思われる」「学校だよりなどのお知らせを読むと学校のことがよくわかる」は100%でした。

本校の課題は2点あると考えます。1点目は「あいさつ」です。「子どもは地域でも挨拶をしている」の項目は、肯定的な回答が74%ではありますが、「思う」の回答率が25%と低く、「あまり思わない」という回答率が27%と高い数値になりました。上学年の評価の考察でも触れた通り、相手を意識したあいさつの指導を継続していく必要があります。

2点目は、「学校の施設、設備の改善」です。「学校の施設や設備は学習活動面で充実している」は肯定的な回答率が73%と比較的高いものの、「思う」の回答率は20%と大変低くなりました。これについては練馬区に要望を出し、解決していきたいと考えます。また、「地域の皆様とともに」という意識を常にもち、教育活動を進めていきたいと改めて考えております。今後もご協力のほどよろしくお願い申し上げます。